

📍地イベントピックアップ!

まだHPでも
イベント情報掲載中



09/27 金剛 (大阪府富田林市)

セレッソ大阪OBも参加! パークデー 2025 in Kongo

団地に隣接する金剛中央公園で大きなイベントを開催していました。2029年に向けて、人が集まる場所を目指して公園がリニューアル予定で、今回は一足先にその雰囲気をお披露目ということらしいです!



1 好天に恵まれ多くの人足を運びました 2 老若男女が楽しめるウォーキングフットボール

グラウンドの中央では音楽の演奏などが行われ、周りではマルシェが展開していました。グラウンド周辺の木々が植えられているエリアは、ロープが張られてターザンのようにぶら下がるなどの遊びができるプレーパークに変身! 大勢の子どもたちが楽しそうに遊んでいました。



金剛団地の 守り窓とるる

公園が広くて大きい!

レポーター:S.U.さん

10/25 洛西エリア (京都市西京区)

秋の夜長に映画はいかが? せせらぎシアター

ここ最近毎年開催されている小畑川「水辺の舞台」でのせせらぎシアター。今年は残念ながら雨の予報でしたが、隣接するホテル京都エミナースで無事に開催されました。ホテルのロビーにずらりとマルシェが並び、焼き立てのパンや揚げ、ホテルのカレーなどおいしいそなにおいを漂わせていました。非日常の光景に、なんだか旅行に来たような感じがしてワクワクします。



1 ホテルのロビーを使っての開催となりました 2 大きなスクリーンで映画を鑑賞!

ホテルのホールでは中学生による吹奏楽の演奏、高校生による書道パフォーマンスなどが披露されました。大学生たちによるダンスでは、一緒に観客も踊れる曲もあって、ステージから降りてきたダンサーさんと子どもたちが体を動かしている様子がとてもほほ笑ましかったです。



洛西エリアの 守り窓とるる

エリア内での
買い物很方便!

レポーター:T.O.さん

自治会活動に参加してみました

高の原駅西・高の原駅第2 (京都市木津川市)

子どもたちのふるさとを守り、引き継いでいく

今回お邪魔したのは約860戸の高の原駅西団地と高の原駅第2団地。兜台1丁目自治会として二つの団地の自治会活動を行っています。田中良典会長に自治会活動について伺いました。

ともあるんだとか。「30年も開催していると、かつて参加していた子どもたちが、運営を手伝ってくれるようになりました。子どもたちにとってこの団地は大事なふるさとだし、思い出もかけがえのないものになるんです。だから夏まつりは今後も続けていきたいですね」と田中会長はしみじみと話してくれました。2020年はコロナ禍で夏まつりは中断されましたが、2021年にはすぐに復活させました。その他、餅つき大会など、一時途切れていた恒例行事を少しずつ再開している兜台1丁目自治会。そこには団地で暮らす子どもたちにふるさとの思い出をつくってほしいという願いがこめられているのです。



▲田中会長



▲ステージではバンド演奏も

10/11 総持寺 (大阪府茨木市、高槻市)

タカとの記念撮影も 総持寺団地秋祭り

ようやく涼しくなってきたこの日、行政、社協、包括、追手門学院大学、URコミュニティによる共同開催の秋祭りが開催されました。スーパーの前の広場にスーパーボールすくいやから揚げなどの屋台が出ていました。手作りクッキーやポップコーンなどもあり、ついついいろいろと買込んでしまいました(笑)。



1 迫力あるダンスパフォーマンス 2 曹鳥を追い払ってくれたタカと記念撮影も!

ステージでは小学生による和太鼓の演奏、近隣のダンスチームによるダンスパフォーマンス、さらに音楽大学に通う学生さんによるトランペット演奏などさまざまな演目が披露されて、ステージ前は人だかりができるほどでした! さらに、この日に合わせて鷹匠の方が団地を訪れ、タカによる害鳥対策を上演。終了後は何とタカとツーショット撮影までさせていただきました。近くで見るととても大きくて少し怖いですが、しっかりとついでをされていておとなしくて、ちょっとかわいらしい!



総持寺団地の 守り窓とるる

おいしいケーキ屋さんが
団地の目の前に!

レポーター:K.N.さん

10/26 アルビス緑丘 (大阪府池田市)

新遊具もお披露目! アルビス緑丘秋祭り

毎年恒例の秋祭りが今年も開催。あいにくの天気で、公園グラウンドではなく、集会所での開催になりました。11時の開始前には、今か今かと入場を待つ皆さんで列ができていました。



1 太鼓の音色に合わせて輪になって踊りました 2 さっそく新遊具で遊ぶ子どもたち

団地住民による輪投げや魚釣りなどの手作りゲーム、フランクフルトなどの出店、キッチンカーも来て大にぎわい。子どもたちも呼び込みを行うなど頑張ってお手伝いをしています。自治会長の呼びかけで子どもたちが集会所に置かれた和太鼓をドンドンとたくと、小さな子どもから高齢の方までみんなで輪になって笑顔で盆踊りを踊ります。



アルビス緑丘の 守り窓とるる

春はサクラが
きれいですよ!

レポーター:A.S.さん

さらに午後からは公園に設置された新しい遊具のお披露目も行われました。ビニールの覆いが外されると、初めて目にするようなユニークな形の遊具が登場! 専門のスタッフによる説明を聞きながら、子どもたちが早速飛びつきます。遊びながら自然な動きでさまざまな身体機能の強化につながるようで、よじ登ったり、狭いすき間をくぐったり、確かに体は鍛えられそうです(笑)。これからも団地の子どもたちが楽しく、健やかに過ごしてほしいと改めて思いました。

私も だんち特派員

日々の暮らしにまつわる写真をレポート付きで皆さんから募集する「私もだんち特派員」! 今号も多くの記事が送られました!

豪華景品が当たるチャンス!

皆さまから素敵なお写真をお待ちしています。応募方法は7ページの下部をご覧ください。



#大阪城 #朝日に照らされる街

10月の朝、ベランダからの絶景 (森之宮第二 A.I.さん)



#千里青山台 #建築鑑賞

約60年前に建てられた千里青山台団地。北千里駅前の高層棟は、建物も曲線、細かいデザインも曲線、小径も曲線。海外のデザインを取り入れた、ため息の出る美しさです (千里青山台 K.I.さん)



#初めての団地生活 #秘密基地

引っ越し屋さんの到着を待ちつつ、パンヤリ。畳も、ふすまも、物置も、子どもにとってはすきな秘密基地。ここから大きくなるぞ! (男山 Pさん)



#赤銅色に染まる月

9月8日の皆既月食を見ました。午前3時から4時半までの1時間半の間、団地の広場からとても神秘的な月を眺めていました (アルビス緑丘 C.B.さん)

団地テナント/ 気になるお店:

創作鉄板居酒屋 BEJITA

中宮第3 (大阪府枚方市)



枚方で愛されるこだわりのお好み焼き

団地だけでなく地域で愛されるお好み焼きの名店「創作鉄板居酒屋BEJITA」は、長尾駅周辺で40年以上に渡り枚方市民に愛されてきた「ベジ太」の2号店として2013年にオープン。BEJITAの代表梅川さんは「大阪の人はお好み焼きを家でも焼く。お店の鉄板でしか作れないキャベツたっぷりでお好み焼きがうちの自慢です」と話します。定番のプラ玉から変わり種のタルタルエビまで、種類も豊富でお子さまから高齢の方まで楽しめます。さらに関西では珍しくもんじゃ焼きも提供しており、「しっかりおかずとして食べてほしい」と中華麵がトッピングされ、食べ応え十分な関西風アレンジで人気を集めます。お客さんの中にはもんじゃ焼きの本場東京の月島よりBEJITA

がおいしい!と言う人もいます。お酒を飲まない人にも同じように楽しんでほしいと、飲みたくないだけアルコール飲み放題、飲まない人はノンアルコール飲み放題や単品注文でOKというのもうれしい心遣い。近隣の外国語大学の留学生などは晩御飯だけ食べにくる人も多いのだという。「大阪市内まで行かなくても、一番おいしいこ焼きが食べられるって留学生がほめてくれました(笑)。いつでも便利に利用してもらえるお店を目指しているので、気軽に食べに来てください」と梅川さんは笑顔で話してくれました。飲む人も飲まない人も一緒に楽しめる、そんなお店に足を運んでみてはいかがでしょうか。

SHOP DATA

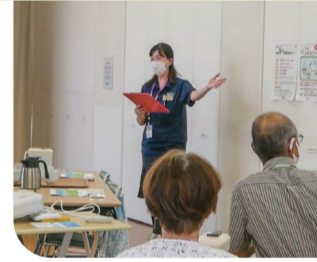
枚方市御殿山南町3-53
17:30~23:00(最終入店21:30、L.O.22:00) 月・火・木
京阪本線「枚方市」駅バス8分下車徒歩4分または京阪本線「御殿山」駅 徒歩7分

- 1 キャベツたっぷりのお好み焼きや海苔とろろなど
- 2 広々としたテーブル席と大きな鉄板!
- 3 マスコットのブルドック。店名はBEJITAでブルなので... (笑)

「くらしつながるサポーター」を訪ねて 団地暮らしのパートナー

第36回

香里ケ丘(大阪府枚方市)
Kさん



▲講師を招き、お茶の入れ方を学ぶイベントなどを開催

悩み事解決の 第一歩目になりたい

2021年から「くらしつながるサポーター(略称:くらサポ)」を務めています。香里ケ丘はいくつかのエリアに分かれ、全部で3000戸以上の五つの団地が私の担当です。くらサポの役割はその名の通り、住民の皆さんのお困りごとをお聞きして、社会福祉協議会や地域包括支援センターなど、それぞれの担当者におつなぎすることです。高齢で一人で住まわれている方は特に一人で抱え込んでしまう人が多いので、よくよくお話を聞き、一緒に悩みごとや困りごとを明らかにしていくことを心掛けています。その際に、家族やお友達などの「つながり」も確認することも大切です。困りごとが解決して、「生活が楽になったよ」と伝えていただいた時は、お役に立ててよかったと心からうれしく思いました。年に数回企画するイベントでは、何よりも皆さんに元気になってもらえるように、参加しやすい興味を持ってもらいやすいテーマを選ぶようにしています。また各戸に配布するくらサポ通信には脳トレを載せて、事務所で答え合わせをしてもらうことで、気軽に立ち寄りやすい、何かあったときに一番に相談相手として選んでもらえるよう意識しています。皆さんも団地内で見かけたらお気軽に声を掛けてくださいね!

私の家族!

我が家は大家族です。孫たちはエネルギーが凄くて大変なこともありますが、かわいさに毎日パワーをもらっています!

※10月1日より「生活支援アドバイザー」は「くらしつながるサポーター」へと改称いたしました。